

2012 年 5 月 31 日 改定

近代美術館屋上と一色海岸をむすぶ

期間限定プロジェクト「アントニー・ゴームリー 彫刻プロジェクト IN 葉山
TWO TIMES — ふたつの時間」の計画について

概要：

このプロジェクトは、世界的に知られたイギリスの彫刻家アントニー・ゴームリー氏（1950 年生まれ、ロンドン在住、男性）が近年世界各地で展開している、広大な風景のなかに彫刻を複数設置するプロジェクトのひとつです。同氏は、1996 年に葉山を訪れ、滞在し、一色の海で泳ぎ、海と山へと広がりを見せるその自然豊かな風景に心ひかれ、この作品を構想しました。現在、当葉山館の屋上と一色海岸を設置場所の候補として、検討を進めております。期間限定の展示で、現在のところ、本年 7 月から来年 3 月初め頃までの展示を考えています。

このプロジェクトは「ふたつの時間」というタイトルで、作品点数は最小単位の 2 体、それぞれ高さ約 190 センチの人体像が、葉山の風景の一部となるコンセプトです。屋上には約 100 キログラムの FRP（強化プラスチック）のもの、一色海岸には約 700 キログラムの鉄製のものを予定しており、それぞれ設置することができるかどうか、調査と調整をしております。展示終了後、作品は撤去されます。自然環境と安全に配慮し、原状復帰するために、場所の選定、設置方法には細心の注意を払います。

目的：

このプロジェクトは、だれもが眺められる空間に等身大の人体像を 2 体展示することによって、優れた作品に多くのひとが接し、その作品を介して、お互いが理解を深め、ともに楽しむ時をもつことを目的の一つにしています。プロジェクトのタイトルである「ふたつの時間」は、海と山、自然と人、過去と未来など、2 体の人体像に仮託されている別々の時間であると同時に、美術館の内と外というふたつの時間を繋ぐという意味も込められています。

また、広報や各種のプログラムを通じて、地域の方々、そして、地域外の多くの方とも、この空間を共有し、その様子を記録した映像作品を作成して国内外に届けることで、地域の文化振興に寄与したいと考えています。

主催：神奈川県立近代美術館

協力：ブリティッシュ・カウンシル

後援：葉山町、葉山町教育委員会



【参考イメージ】左：ロンドンでの展示例



右：クックスハーフェン（ドイツ）での展示例

美術館担当者：学芸員 李美那（り みな）、彦根延代（ひこね のぶよ）

神奈川県立近代美術館：葉山町一色 2208-1 TEL: 046-875-2800 (代表)